# 三菱電子署名モジュール MistyGuard®<SignedPDF®>シリーズ 電子署名付与済み PDF 文書 Adobe Reader X 署名検証 設定手順書

Ver1.0.2

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

# 改定履歴

版数	日付	内容
1.0.0	2013/06/07	初版
1.0.1	2013/07/05	<ul> <li>Acrobat Xも「2.4 信頼済み証明書の登録」(1)の手順以外は、 Adobe Reader Xと同じ内容であることを追記。</li> <li>SignedPDF Verifier のアンインストール手順を追記。</li> </ul>
1.0.2	2013/10/22	誤記の修正を実施。

 · · ·	

次
---

1	は	にじめに	4
2	A	dobe Reader Xで署名検証を行うための設定手順	4
	2.1	設定手順の流れ	4
	2.2	SignedPDF Verifierのアンインストール	5
	2.3		7
	2.4	信頼済み証明書の登録	8
	2.5	署名検証の設定	14
3	A	dobe Reader Xでの署名検証の方法	16
4	注	意事項	19
	4.1	失効確認を行わない場合の設定	19
	42	署名検証に使用する時刻の変更	

# 1 はじめに

本書は、弊社が販売している電子署名モジュール MistyGuard<SignedPDF>シリーズで、電子署名やタイ ムスタンプ付与、または長期署名を行った PDF 文書を、Adobe Reader X もしくは AcrobatX (本書では、 Adobe Reader X と記載)を使用して署名検証を行うために必要な設定手順、Adobe Reader X での署名検 証の方法について示すものです。

#### 【!注意!】

- ①Adobe Reader XI、Acrobat XI をご利用の方は、本書ではなく「Adobe Reader XI 署名検証設定手順書」 をご参照ください。
- ②本書では Adobe Reader X の画面イメージを使用して説明を行います。
- Acrobat Xをご使用の場合、「2.4 信頼済み証明書の登録」(1)の手順が異なる以外は、Adobe Reader Xと設定手順や署名検証の内容は同じです。

### 2 Adobe Reader X で署名検証を行うための設定手順

Adobe Reader X で署名検証を行うための設定手順を説明します。

#### 2.1 設定手順の流れ

設定作業の流れを以下に示します。



SignedPDF Verifier のアンインストールを行います。 SignedPDF Verifier のインストールを行っていない 場合は、本作業は不要です。

署名検証に必要な、信頼済み証明書のダウンロー ドを行います。

Adobe Reader に信頼済み証明書の登録を行います。

Adobe Reader に署名検証の設定を行います。

# 2.2 SignedPDF Verifier のアンインストール

署名検証を行う端末に SignedPDF Verifier のインストールが行われている場合は、以下の手順に従って SignedPDF Verifier のアンインストールを行ってください。

署名検証を行う端末にSignedPDF Verifierがインストールされていない場合は、SignedPDF Verifierのアンインストールは不要です。「2.3信頼済み証明書のダウンロード」以降の設定を行ってください。

#### [Windows XPの場合]

- (1) コントロールパネルから「プログラムの追加と削除」を選択します。
- (2) プログラムの一覧から「SignedPDF Verifier」を選択し、[削除]ボタンをクリックしてください。

🐻 プログラムの道	加と削除	
ブログラムの 変更と削除(日)	現在インストールされているプログラム: 回 更新プログラムの表示(D) Adobe Acrobat 823 Professional	並べ替え(S):名前 💌 サイズ 1,408.00MB
プログラムの 追加( <u>N</u> )	1号 SignedPDF Verifier サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。 コンピュータからこのプログラムを削除するには、簡明除1をクリックしてください。	サイズ <u>7.73MB</u> 使用頻度 低 最終使用日 2010/07/09 <mark>削除</mark>
していたい Windows コンボーネントの 追加と削除(A)		
マログラムの アクセスと 既定の設定( <u>0</u> )		

(3) インストールウィザードの指示に従って、「SignedPDF Verifier」をアンインストールしてください。

#### [Windows Vista の場合]

- (1) コントロールパネルで、「プログラムのアンインストール」を選択します。
- (2) プログラムの一覧から「SignedPDF Verifier」を選択し、[アンインストール]ボタンをクリックして ください。



(3) インストールウィザードの指示に従って、「SignedPDF Verifier」をアンインストールしてください。

[Windows 7 の場合]

- (1) コントロールパネルで、「プログラムのアンインストール」を選択します。
- (2) プログラムの一覧から「SignedPDF Verifier」を選択し、[アンインストール]ボタンをクリックして ください。

	ネル 🕨 プログラム 🕨 プログラムと機能	▼ 4 プログラムと機能の	検索・
コントロール パネル ホーム	プログラムのアンインストールまたは変更		
インストールされた更新プロ グラムを表示	プログラムをアンインストールするには、一 [修復] をクリックします。	覧からプログラムを選択して [アンインストール]、[3	を更]、または
<ul> <li>Windows の機能の有効化また は無効化</li> </ul>	整理 ▼ アンインストール		:≕ ▼ 🔞
	名前	発行元	インストー サ
	≽ Adobe Acrobat 9 Pro - Japanese	Adobe Systems	2010/07/09
	🔁 SignedPDF Verifier	三菱電機インフォメーションシス	2010/07/09
	< <li>Ξ菱電機インフォメーションシス・</li>	テムズ 製品バージョン: 5.00.00 サイズ: 6.14 MB	,

(3) インストールウィザードの指示に従って、「SignedPDF Verifier」をアンインストールしてください。

# 【!注意!】

アンインストール時、SignedPDF Verifier インストール先のフォルダが削除されず残る場合があります。

フォルダが残っている場合は、別途手動でフォルダを削除してください。 なおフォルダが残っていても支障はありません。

### 2.3 信頼済み証明書のダウンロード

電子署名付与に使用している署名者証明書、およびタイムスタンプ付与、長期署名に使用している TSA 証明書の上位証明書である信頼済み証明書(証明書のトラストアンカー証明書、および中間証明書)を、署 名検証を行う端末上の任意のフォルダにダウンロードし、ファイル保管を行ってください。

電子署名付与のみ行われている PDF 文書の署名検証を行うためには、電子署名付与に使用している署名者 証明書の上位証明書である信頼済み証明書のダウンロードと、信頼済み証明書の登録が必要です。

タイムスタンプ付与、長期署名が行われている PDF 文書の署名検証を行うためには、電子署名付与に使用 している署名者証明書の信頼済み証明書、タイムスタンプ付与に使用している TSA 証明書の信頼済み証明 書のダウンロードと、この2つの信頼済み証明書の登録が必要です。

# 2.4 信頼済み証明書の登録

[Adobe Reader X の場合]

(1) Adobe Reader X を起動し、メニューの「編集」―「保護」―「信頼済み証明書」を選択してください。



[Acrobat X の場合]

(1) Acrobat X を起動し、上部ツールバーの「ツール」―「電子署名」―「その他の電子署名」―「信頼済 み証明書」を選択してください。



(2) 信頼済み証明書の管理画面が表示されたら、「連絡先を追加」ボタンをクリックしてください。

別	連絡先を追加(4)…
	連絡先を要求( <u>R</u> )
	[[]]
	(書き出し(X)
	〔削除(D)
	新規グループ(G)
	<ul> <li>              Î 単除(D)      </li> <li>              新規グループ(G)…      </li> </ul>

(3) 取り込む連絡先の選択画面が表示されたら、「参照」ボタンをクリックしてください。

名則	电 <sup>-</sup>	子メール	削除(R)
			検索(S)
明書			<u> </u>
この一覧には、現在通	選択している連絡先に 開	間連付けられた証明書が表	示されます。
			=+ 4++ (1 ))
サブジェクト	発行者	期限	5+44(U).

(4) 証明書ファイルを探す画面が表示されたら、2.3にて保管を行った信頼済み証明書ファイルを選択して、 「開く」ボタンをクリックしてください。

▶ 証明書ファイルを探す	-	0.458.0	ALC BUT L	artena at	×
	レディスク (C	:) 🕨 work	<b></b> - ₹	余	Q
🖣 整理 ▼ 🎬 表示 👻	📑 新しいフ	オルダ			0
お気に入りリンク	名前	更新日時	種類	サイズ	
1 最近表示した場所	Test_Ro	otCA.cer			
■ デスクトップ					
📕 コンピュータ					
▶ ドキュメント					
■ ピクチャ					
💽 ミュージック					
🔊 最近の変更					
■ 検索					
🌗 パブリック					
フォルダ 🔨					
771.	ル名(N): Test_	RootCA.cer		明書を含むファイル(*.f	df,*p7c,* →
				開((0)  ▼	

(5) 取り込む連絡先の選択画面の連絡先内に、選択を行った信頼済み証明書が表示されるので、その証明書 を選択してください。

名前 圖 c= IP o=Mitsubis	电子 hi Electric Inform	メール	
			参照(B)
			検索(5)
明書			
明書 この一覧には、現在は	選択している <mark>連絡先</mark> に関	連付けられた証明書が表	示されます。
明書 この一覧には、現在〕 サブジェクト	選択している連絡先に関 発行者	連付けられた証明書が表 期限	示されます。

(6) 取り込む連絡先の選択画面の証明書内に、選択を行った信頼済み証明書が表示されるので、その証明書 を選択して「信頼」ボタンをクリックしてください。

009170000000000000000000000000000000000	用して、信頼月の証明書に 自書の信頼を設定することも	に取り込む連絡元を進択 らできます。	
名前	電子メール		削除(R)
-			検索(5)
証明書 この一覧には、現在選択し	っている連絡先に関連付け	られた証明書が表示され	ます。
証明書 この一覧には、現在選択し サブジェクト	っている連絡先に関連付け 発行者	られた証明書が表示され 期限	ます。
証明書 この一覧には、現在選択し サブジェクト Mitsubishi Electric Infor	っている連絡先に関連付け 発行者 Mitsubishi Electric Info	られた証明書が表示され 期限 2036/04/30 14:59:59	ます。

信頼済み証明書が中間証明書である場合、「信頼」ボタンをクリックすると以下の警告ダイアロ グが表示されることがあります。

その場合は、警告ダイアログの「OK」ボタンをクリックして警告ダイアログを閉じた後に (8)以降の手順にしたがって作業を行ってください。

Acrobat	Security
<b></b>	この連絡先の証明書は、信頼点から既に継承されています。この証明書 を直接信頼すると、すべての継承された信頼設定よりも優先されます。 実行してよろしいですか?
	OK キャンセル

(7) 連絡先設定を取り込み画面が表示されたら、「信頼」内の「□この証明書を信頼済みのルートとして使用」にチェックを行い、「OK」ボタンをクリックしてください。

格先設定を取り込み	
証明書の詳細	
サブジェクト: Mitsubishi Electric Informati	on Systems Corporation
発行者: Mitsubishi Electric Information Syst	ems Corporation
使用方法: 証明書に署名 (CA), CRL に署名	
有効期限: 2036/04/30 14:59:59	
信頼	
署名の検証が成功するには、文書の署名	ムに使用される証明書が信頼点として指定さ
も上の階層については失効確認は実行さ	ないません。
☑ この証明書を信頼済みのルートとし	て使用(R)
署名の検証に成功した場合、次の対象に	こついてこの証明書を信頼
☑ 署名された文書またはデータ	
証明済み文書(f)	
□ ダイナミックコンテンツ(	D)
埋め込まれている特権の調	高い JavaScript(J)
□ 特権が必要なシステム操作 アクセスなど)(P)	乍(ネットワーク、印刷、ファイル
証明書の詳細(E)	
	OK キャンセル

(8) 取り込む連絡先の選択画面に戻るので、「取り込み」ボタンをクリックしてください。

名前	電子メー	ν	削除(R)
🔜 c=JP, o=Mitsubish	i Electric Inform		参照(B)
			(快来回…
明書			
明書 の一覧には、現在選	択している連絡先に関連付(	けられた証明書が表示	Rotate.
明書 の一覧には、現在選 サブジェクト	択している連絡先に関連付し 発行者	ナられた証明書が表示 期限	たされます。

(9) 取り込みの終了画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックしてください。

収り込みの終了	
取り込みの詳細:	
1 人の発行者の証明	唐が取り込まれました。
2.1	ОК

- (10) 複数の信頼済み証明書の登録を行う場合は、(3)から(9)の手順を参照して、署名検証に必要な信 頼済み証明書の登録を行ってください。
- (11)署名検証に必要な信頼済み証明書の登録が全て完了したら、すべての画面を順に閉じて、Adobe Reader X を再起動してください。

# **2.5 署名検証の設定**

(1) Adobe Reader X を起動し、メニューの「編集」―「環境設定」を選択してください。

アイル(F)	編集(E) 表示(V) ウ	ィンドウ(W) ヘルプ(H)	
P 🔁	⑤ 元に戻す(U)	Ctrl+Z	1
	🍈 やり直し( <u>R</u> )	Shift+Ctrl+Z	
	切り取り(工)	Ctrl+X	
	□ピー( <u>C</u> )	Ctrl+C	
	<ul> <li>         らり付け(P) 削除(D)         </li> </ul>	Ctrl+V	
A	すべてを選択( <u>L</u> )	Ctrl+A	
	暹択を解除( <u>E</u> )	Shift+Ctrl+A	
Ē	ファイルをクリッフ	<sup>が</sup> ボードにコピー( <u>B</u> )	۶E
Ī	🝙 スナップショット(/	<u>A)</u>	] PI
ť	スペルチェック( <u>K</u> )	•	PI
E	Q。簡易検索(E)	Ctrl+F	5
	高度な検索( <u>∨</u> )	Shift+Ctrl+F	s
	保護( <u>I</u> )	•	ero,
	分析(S)	•	
	アクセシビリティ(	<u>Y)</u>	
	環境設定( <u>N</u> )	Ctrl+K	

(2) 分類の「セキュリティ」を選択し、「詳細環境設定」ボタンをクリックしてください。

フルスクリーンモード ページ表示	電子署名 ☑ 文書を開くときに署名を検証──
─般 注釈	── 署名時に文書を文書プレビューモードで表示する ──
2書	表示方法
D とマルチメディア avaScrint	*/1756(17)
ックセシビリティ	編集(E)
インターネット	複製(L)
オンラインサービス スペルチェック	削除(D)
オコリティ	
トラッカー フォーム フルチメディア (従来形式) フルチメディア (従来形式)	セキュリティ設定 回 サーバーのセキュリティ設定を読み込む(3)
5のさし (2D) 5のさし (3D)	サーバー設定 URL( <u>B</u> ):
5のさし (地図情報) ユーザー情報	<b>設定に必要な署名</b> MM: すべての証明書を許可 ▼ 参照(6)…
	チェック間隔( <u>C</u> ): ①1週間(N) ⑧1ケ月(O) 今すぐ更新(U)
■語環境 ■頼性管理マネージャー 単位 ■ 2 トレ	◎ 2 週間(2) ◎ 3 ケ月(3) ☑ 更新する前に確認(F)
τσ±ν)	LiveCycle Rights Management 記憶したアカウント情報をクリア①…

(3) 電子署名の詳細環境設定画面が表示されるので、「検証」タブが選択されていることを確認し、検証方法にて「常にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)」を選択し、署名検証のデフォルト方法が「Adobe デフォルトセキュリティ」となっていることを確認して「OK」ボタンをクリックしてください。

<ul> <li>検証方法:</li> <li>② 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合は確認(U)</li> <li>③ 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合は存了フォルトの方法を使用(D)</li> <li>④ 常にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視(W)</li> <li>署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) (※1)</li> <li>③ 案名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) (※1)</li> <li>③ 案名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) (※1)</li> <li>③ 案名検証に使用する時刻: (※2)</li> <li>⑤ 現在の時刻(C)</li> <li>⑥ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>⑧ 署名が作成された時刻(R)</li> <li>⑦ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	検証	作成W	indows 統合				
<ul> <li>文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合は確認(U)</li> <li>文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)</li> <li>第にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(M)</li> <li>署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) (※1)</li> <li>文書の検証情報を無視(D)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻: (※2)</li> <li>現在の時刻(C)</li> <li>署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>軍名が作成された時刻(D)</li> <li>「期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	検証フ	方法:					
<ul> <li>文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合はデフォルトの方法を使用(0)</li> <li>第にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(M)</li> <li>署名検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ・</li> <li>図署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) (※1)</li> <li>文書の検証情報を無視(0)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻: (※2)</li> <li>現在の時刻(C)</li> <li>第名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(5)</li> <li>■ 署名が作成された時刻(7)</li> <li>⑦ 期限切れのタイムスタンプを使用(c)</li> </ul>	C	文書で指定	された署名方法	を使用、 使用できない場	合は確認(U)		
<ul> <li>●常にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(W)</li> <li>署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) (※1)</li> <li>●文書の検証情報を無視(R)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻: (※2)</li> <li>●現在の時刻(C)</li> <li>●署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>● 署名が作成された時刻(R)</li> <li>⑦期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	C	文書で指定	された署名方法	を使用、使用できない場	合はデフォルトの方法	を使用(D)	
<ul> <li>署名検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ</li> <li>② 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) (※1)</li> <li>◎ 文書の検証情報を無視(I)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻: (※2)</li> <li>③ 現在の時刻(C)</li> <li>◎ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>◎ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>		常にデフォ	ルトの署名方法	を使用(文書で指定され)	た方法を無視)(W)		
<ul> <li>▼署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) (※1)</li> <li>文書の検証情報を無視(I)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻: (※2)</li> <li>● 現在の時刻(C)</li> <li>● 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>● 署名が作成された時刻(T)</li> <li>▼ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	署名相	食証のデフォ	ルト方法(F):	Adobe デフォルトセキュ	リテ・	•	
<ul> <li>▲ されてはこのほうへのがは起めれながすることととなべい((欠工)</li> <li>○ 文書の検証に使用する時刻: (※2)</li> <li>○ 現在の時刻(C)</li> <li>○ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>◎ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	同業	名檜証の際に	証明書の生効な	#認が成功することを要す	Ž(R) (¥1)		
<ul> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻: (※2)</li> <li>⑦ 現在の時刻(C)</li> <li>⑦ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>⑧ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>⑦ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>		書の検証情報	最を無視の		(*1)		
<ul> <li>署名の検証に使用する時刻: (※2)</li> <li>⑦ 現在の時刻(C)</li> <li>⑦ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>⑧ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>⑦ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	検証	E時刻					
<ul> <li>● 現在の時刻(C)</li> <li>● 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>● 署名が作成された時刻(T)</li> <li>✓ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	署	名の検証に使	明する時刻:	(※2)			
<ul> <li>● 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(s</li> <li>● 署名が作成された時刻(f)</li> <li>▼ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>		◎ 現在の問	寺刻(C)				
<ul> <li>● 署名が作成された時刻(T)</li> <li>☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>		◎ 署名に均	型め込まれたタイ	イムスタンプサーバー等に	よって保証される時刻	1、見つからない場合は現在の	の時刻(S)
図期限切れのタイムスタンプを使用(E)		<ul> <li>署名が作</li> </ul>	F成された時刻(	ז			
		☑ 期限切れ	いのタイムスタン	/プを使用(E)			

※1: Adobe Reader X の初期設定では、「証明書の失効確認を行う」設定となっております。 SignedPDF Verifier の初期設定は、「証明書の失効確認を行わない」設定となっており、インタ ーネットに接続できない環境などで署名検証を行う場合、SignedPDF Verifier と検証結果が異 なる場合があります。 その場合は、本書「4.1 失効確認を行わない場合の設定」を参照して、Adobe Readerの設定を変

その場合は、本書「4.1 矢効確認を行わない場合の設定」を参照して、Adobe Readerの設定を変更してから署名検証を行ってください。

※2: Adobe Reader X の初期設定では、「署名が作成された時刻」を使用した署名検証を行う設定と なっております。

SignedPDF Verifier は、電子署名付与のみ行われている PDF 文書の場合「現在の時刻」、タイムスタンプ付与が行われている PDF 文書の場合「署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻」で署名検証を行っており、SignedPDF Verifier と検証結果が異なる場合があります。

その場合は、本書「4.2 署名検証に使用する時刻の変更」を参照して、Adobe Readerの設定を変更してから署名検証を行ってください。

(4) すべての画面を順に閉じて、Adobe Reader X を再起動してください。

# 3 Adobe Reader X での署名検証の方法

(1)署名検証を行う電子署名やタイムスタンプ付与、または長期署名を行った PDF 文書を、Adobe Reader X で開いてください。PDF 文書を開くと自動的に署名検証が行われます。 PDF 文書上段のメッセージバーに電子署名状態アイコンの表示が行われます。 署名検証のステータス確認を行う場合は、印影をクリックしてください。

12 サンプル.pdf - Adobe Reader		
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	×	
	ツール 注釈	
署名済みであり、すべての署名が有効です。	3月 署名パネル	
<ul> <li>● 発注請書</li> <li>No. 32-50-ジ3578-ウ-00013 YYYY/MM/DD</li> <li>◆◆◆◆◆株式会社御中</li> <li>東京都△△区○○XT目XX番XX号 ○○電機株式会社 ジステム営業部</li> <li>□ 印 (200円)</li> </ul>	印影 (※1) さ クリック。	

※1:印影や印影の箇所は、あくまで本書での例であり、実際は PDF 文書により異なります。

(2) 署名の検証のステータス画面の表示が行われ、署名検証のステータス、メッセージの確認が行えます。

「署名のプロパティ」ボタンをクリックしてください。

名の傾調	止のステータス			
lay	署名は有効で、	証明書の名前(※2) 署名が適用された後、	によって署名されてい; 変更されていません。	ます。
~	- 署名者の ID (a	有効です。		
		建上の注音事項の	実々のプロパティの	<u>問い</u> ろ(0)
	11	第二リノエ思事項[1]…	右右のノロハノユ(「)…	1210-010

※2:表示される証明書の名前は、電子署名付与に使用した署名者証明書の サブジェクト CN の設定値となります。 メッセージの表示内容は文書の信頼性、設定状況などによって違ってきます。 主な表示内容について以下に示します。

No	アイコン	ステータス	メッセージ	原因
1	la de la della de la della d	電子署名が正常な場合	<ul> <li>署名は有効で、&lt;証明書の名前&gt;によって署名されています。</li> <li>文書は、この署名が適用された後、変更されていません。</li> <li>署名者の ID は有効です。</li> </ul>	
2	leg 1	失効情報が確認 できない電子署 名の場合	<ul> <li>署名の完全性は不明です。</li> <li>文書は、この署名が適用された後、</li> <li>変更されていません。</li> <li>署名者の ID は発行時は有効でしたが、現時点で失効確認ができませんでした。</li> </ul>	<ul> <li>・実行端末からインターネット接続できない。</li> <li>・実行端末の時刻が合っていない。</li> <li>・認証局が障害停止している。(CRL 未公開)。</li> </ul>
3	le <u>r</u>	信頼する認証局 ではない電子署 名の場合	<ul> <li>署名の完全性は不明です。</li> <li>文書は、この署名が適用された後、</li> <li>変更されていません。</li> <li>署名者の ID は信頼済み証明書の一</li> <li>覧に見つからず、親証明書も信頼済み証</li> <li>明書ではないので、この ID は不明です。</li> </ul>	<ul> <li>Adobe Reader に信頼済み 証明書の登録を行っていない。</li> <li>Adobe Reader の署名検証 の設定を行っていない。</li> </ul>
4	Les .	署名の有効期限 が切れている場 合	<ul> <li>署名の完全性は不明です。</li> <li>文書は、この署名が適用された後、</li> <li>変更されていません。</li> <li>署名者の ID は、有効期限が切れているか、まだ有効になっていないため、</li> <li>不明です。</li> </ul>	・古い署名済み PDF 文書を 参照したため、署名に使用し た電子証明書の参照時点で 有効期限切れになっている。
5	L.	失効された電子 署名の場合	<ul> <li>署名は無効です。</li> <li>一 文書は、この署名が適用された後、</li> <li>変更されていません。</li> <li>一 署名者の ID は失効しているため無</li> <li>効です。</li> </ul>	・署名に使用した電子証明書 が何からの事情により、やむ なく失効されている。
6	Le	改ざんされた電 子署名の場合	<ul> <li>署名は無効です。</li> <li>一 文書は、署名が適用された後、変更 されたかまたは破損しました。</li> <li>一 この文書は現在のユーザによって署 名されています。</li> </ul>	<ul> <li>・署名された PDF 文書の内容が変更(改ざん)されている。</li> <li>(この PDF 文書の内容が、信頼できないものとなっている)。</li> </ul>

表 1 Adobe Reader 署名検証ステータス 一覧

- (3) 署名のプロパティ画面が表示され、署名検証結果の詳細について確認が行えます。
  - 「証明書を表示」ボタンをクリックすると、証明書ビューアが表示され証明書の詳細情報の確認が 行えます。

女   又吉   老石石   日付 / 時刻   法律上の)	土豆爭項
<b>署名者(5)</b> : 証明書の名前(※3)	証明書を表示(1)
理由IRI: 私はこの文書を承認しました。	
醫名時刻: 2013/04/05 14:08:54 +09'00'	署名地心:福岡県
正当性の概要	3072334400000
☆ 文書は、この署名が適用された後、変更	<b>見されていません</b> ₀
☞ 署名者の ID は有効です。	
▲ 署名時刻は署名者のコンピューターの時	結に基づいています。
署名は MDIS.SignedPDF を使用して作成されてい 署名は署名時刻に検証されました: 2013/04/05 14:08:54 +09'00'	います。

※3:表示される証明書の名前は、電子署名付与に使用した署名者証明書の サブジェクト CNの設定値となります。

# 4 注意事項

#### 4.1 失効確認を行わない場合の設定

署名検証を行う際、証明書の失効確認を行うため Adobe Reader はインターネットに自動接続します。 利用端末がインターネットに接続できない環境等である場合、本章に示す Adobe Reader X の設定変更を 行うことによって失効確認を行わないようにすることが可能です。

SignedPDF Verifier の初期設定は、「証明書の失効確認を行わない」設定となっており、Adobe Reader X での検証結果と SignedPDF Verifier での検証結果が異なる場合、本章に示す Adobe Reader の設定変更 を行ってから Adobe Reader X で署名検証を行ってください。

(1) Adobe Reader X を起動し、メニューの「編集」―「環境設定」を選択してください。

Adobe Re	ader	
ファイル(F	編集(E) 表示(V) ウィント	<sup>ド</sup> ウ(W) ヘルプ(H)
	<ul> <li>一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一</li></ul>	Ctrl+Z
	🍈 やり直し( <u>R</u> )	Shift+Ctrl+Z
	切り取り(工)	Ctrl+X
	ିଇ ⊐ピ–( <u>C</u> )	Ctrl+C
	らい時代(P)	Ctrl+V
	削除( <u>D</u> )	
A	すべてを選択( <u>L</u> )	Ctrl+A
	選択を解除( <u>E</u> )	Shift+Ctrl+A
i	ファイルをクリップボー	ドにコピー( <u>B)</u>
t		) P
ť	スペルチェック( <u>K</u> )	۰ <u>۱</u> ۹
G		Ctrl+F
	高度な検索(⊻)	Shift+Ctrl+F
	保護( <u>I</u> )	•
	分析( <u>5</u> )	•
	アクセシビリティ(Y)	•
	環境設定( <u>N</u> )	Ctrl+K

(2) 分類の「セキュリティ」を選択し、「詳細環境設定」ボタンをクリックしてください。

順(G):	
ルスクリーンモード 一部表示	☑ 文書を開くときに署名を検証M
般	
釈	
<b>=</b>	
とマルチメディア	#T75U
vaScript クセミドリティ	編集(E)
ップデーター	(2) 約100
ンターネット	152.202 (L)
	削除(D)
キュリティ	
モュリティ(取得) ラッカー	
л-Д	セキュリティ設定
ルチメディア(従来形式)	□ サーバーのセキュリティ設定を読み込む(5)
ルテメティアの肩積圧(ルに木形式) のさし (2D)	サーバー設定
のさし (BD)	URL(R):
のさし (吧凶)(同戦) 一ザー情報	設定に必要な署名M: すべての証明書を許可 → 参照(B)
Ez-	
素	
記候祝 頼性管理マネージャー	○ 2 週間(2) ○ 3 ケ月(3) 💟 更新する前に確認(F)
位	
か上げ	LiveCycle Rights Management
	記憶したアカウント情報をクリアm

- (3) 電子署名の詳細環境設定画面が表示されるので、「検証」タブが選択されていることを確認し、検証方 法の「□署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求」のチェックを外し、「OK」ボタンを
  - クリックしてください。

検証方法	
03	Z書で指定された署名方法を使用、使用できない場合は確認(U)
03	z書で指定された署名方法を使用、使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)
0	常にデフォルトの署名方法を使用 (文書で指定された方法を無視)(W)
署名検討	Eのデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼
同罢夕	
検証時	刻
署名	~
(	)現在の時刻(C)
0	)署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(5)
	)署名が作成された時刻(I)
8	〗期限切れのタイムスタンプを使用(E)
a —e	

(4) すべての画面を順に閉じて、Adobe Reader X を再起動してください。

# 4.2 署名検証に使用する時刻の変更

Adobe Reader X の初期設定では、「署名が作成された時刻」を使用した署名検証を行う設定となっており ます。本章に示す Adobe Reader の設定変更を行うことによって署名検証に使用する時刻を変更すること が可能です。

SignedPDF Verifier は、電子署名付与のみ行われている PDF 文書の場合「現在の時刻」、タイムスタンプ 付与が行われている PDF 文書の場合「署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される 時刻」で署名検証を行っており、SignedPDF Verifier と検証結果が異なる場合は、本章に示す Adobe Reader の設定変更を行ってから Adobe Reader X で署名検証を行ってください。

(1) Adobe Reader X を起動し、メニューの「編集」―「環境設定」を選択してください。

Adobe Re	ader	
ファイル(F)	編集(E) 表示(V) ウィント	ドウ(W) ヘルプ(H)
		Ctrl+Z
	🍈 やり直し( <u>R</u> )	Shift+Ctrl+Z
	切り取り(工)	Ctrl+X
	ିଳ ⊐ピ–( <u>C</u> )	Ctrl+C
	□ 貼り付け(P)	Ctrl+V
	削除( <u>D</u> )	
A	すべてを選択( <u>L</u> )	Ctrl+A
	選択を解除( <u>E</u> )	Shift+Ctrl+A
I	ファイルをクリップボー	ドにコピー( <u>B</u> )
Ī		-
ť	スペルチェック( <u>K</u> )	• 1
l.	Q。簡易検索(E)	Ctrl+F
	高度な検索(⊻)	Shift+Ctrl+F
	保護( <u>I</u> )	•
	分析( <u>5</u> )	•
	アクセシビリティ(Y)	•
	環境設定( <u>N</u> )	Ctrl+K

(2) 分類の「セキュリティ」を選択し、「詳細環境設定」ボタンをクリックしてください。

	电子署名
-ジ表示	☑ 文書を開くときに署名を検証 ☑
<u> </u>	■ 署名時に文書を文書プレビューモードで表示する(M)
	表示方法
とフルチメディア	新規(1)
aScript	· 疟疟/p
フセシビリティ ・プデーター	478396(-)
ターネット	· 複製(L)
<b>ッラインサービス</b>	削除(D)
Fエリティ	
ァッカー ナーム	セキュリティ設定
レチメディア(従来形式)	サーバーのセキュリティ設定を読み込む(S)
レチメティアの信頼性 (従来形式) Dさし (20)	サーバー設定
Dさし (3D)	URL(B):
Dさし (地図情報) - +f 情報	設定に必要な署名(M): すべての証明書を許可 → 参照(B)
2	
Fræde	チェック間隔(1): 〇1週間(K) ④1万月(0) 今9く更新(U)
言現現 顔性管理マネージャー	○ 2 週間(2) ○ 3 ケ月(3) ☑ 更新する前に確認(F)
ž	
7 <u></u>	LiveCycle Rights Management
	記憶したアカウント情報をクリアの

- (3) 電子署名の詳細環境設定画面が表示されるので、「検証」タブが選択されていることを確認し、「署名の検証に使用する時刻」を変更してください。
  - 「署名の検証に使用する時刻」の詳細について以下に示します。
  - ・現在の時刻:署名検証を行う端末のシステム時刻を使用して署名検証を行います。
  - ・署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからなかった場合は現 在の時刻:タイムスタンプ付与が行われた時刻を使用して署名検証を行います。タイムスタンプ付与 が行われていない場合は、署名検証を行う端末のシステム時刻を使用して署名検証を行います。
  - ・署名が作成された時刻:電子署名付与が行われた時刻を使用して署名検証を行います。
    - → Adobe Reader X の初期設定値となります。

検証方法: <ul> <li>○ 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合は確認(U)</li> <li>○ 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)</li> <li>③ 常にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(W)</li> </ul> 署名検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼ ☑ 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) ② 累名検証情報を無視(I) 検証情報を無視(I) 検証時刻 署名の検証に使用する時刻: ③ 現在の時刻(C) ④ 現在の時刻(C) ④ 現名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在のB ④ 署名が作成された時刻(T)	<ul> <li>広法:</li> <li>○ 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合は確認(U)</li> <li>○ 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)</li> <li>○ 常にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(W)</li> <li>○ 常にデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼</li> <li>■ 客名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>文書の検証情報を無視(D)</li> <li>ご 都名の検証に使用する時刻:</li> <li>○ 現在の時刻(C)</li> <li>○ 第名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>○ 署名が作成された時刻(D)</li> <li>○ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	<ul> <li>検証方法:</li> <li>② 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合は確認(U)</li> <li>③ 文書で指定された署名方法を使用(文書で指定されい場合はデフォルトの方法を使用(D)</li> <li>③ 常にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視(W)</li> <li> 医名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) </li> <li>③ 文書の検証に使用する時刻:</li> <li>● 現在の時刻(C)</li> <li>● 第名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻( ● 署名が作成された時刻(T)</li> <li>● 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>		作成 Windows 統合
<ul> <li>○ 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合は確認(U)</li> <li>○ 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)</li> <li>③ 常にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(W)</li> <li>署名検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼</li> <li>☑ 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>□ 文書の検証情報を無視(I)</li> <li>検証時刻</li> <li>案名の検証に使用する時刻:</li> <li>○ 現在の時刻(C)</li> <li>○ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在のB</li> <li>④ 署名が作成された時刻(T)</li> </ul>	<ul> <li>文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合は確認(U)</li> <li>文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)</li> <li>第にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(W)</li> <li>(株証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ 、</li> <li>署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>文書の検証(情報を無視(D)</li> <li>証時刻</li> <li>著名の検証に使用する時刻:</li> <li>⑦ 現在の時刻(C)</li> <li>③ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>④ 署名が作成された時刻(D)</li> <li>② 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	<ul> <li>文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合は確認(U)</li> <li>文書で指定された署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(M)</li> <li>第にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(M)</li> <li>署名検証の原に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>文書の検証情報を無視(D)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>現在の時刻(C)</li> <li>署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻( ● 署名が作成された時刻(D)</li> <li>I 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	検証	方法:
<ul> <li>○ 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)</li> <li>③ 常にデフォルトの署名方法を使用 (文書で指定された方法を無視)(W)</li> <li>署名検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼</li> <li>✓ 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>○ 文書の検証情報を無視(I)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>○ 現在の時刻(C)</li> <li>○ 現在の時刻(C)</li> <li>○ 第名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在のB</li> <li>● 署名が作成された時刻(T)</li> </ul>	<ul> <li>○ 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)</li> <li>◎ 常にデフォルトの署名方法を使用 (文書で指定された方法を無視)(W)</li> <li>○ 検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼</li> <li>■ 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>文書の検証情報を無視(I)</li> <li>証時刻</li> <li>■ 客名の検証に使用する時刻:</li> <li>◎ 現在の時刻(C)</li> <li>◎ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>◎ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	<ul> <li>文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)</li> <li>第にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(W)</li> <li>署名検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ マ</li> <li>図署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>文書の検証情報を無視(D)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>現在の時刻(C)</li> <li>第名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻( @) 署名が作成された時刻(D)</li> <li>図期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>		○ 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合は確認(U)
<ul> <li>◎ 常にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(W)</li> <li>署名検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼</li> <li>☑ 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>□ 文書の検証情報を無視(n)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>□ 現在の時刻(C)</li> <li>□ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在のB</li> <li>● 署名が作成された時刻(T)</li> </ul>	<ul> <li>◎ 常にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(W)</li> <li>④検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼</li> <li>署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>文書の検証情報を無視(I)</li> <li>証時刻</li> <li>蓄名の検証に使用する時刻:</li> <li>◎ 現在の時刻(C)</li> <li>◎ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>◎ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	<ul> <li>● 常にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(W)</li> <li>署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>● 文書の検証情報を無視(I)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>● 現在の時刻(C)</li> <li>● 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻( ● 署名が作成された時刻(T)</li> <li>▼ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>		◎ 文書で指定された署名方法を使用、使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)
<ul> <li>署名検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼</li> <li>図 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>○ 文書の検証情報を無視(I)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>③ 現在の時刻(C)</li> <li>③ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在のB</li> <li>④ 署名が作成された時刻(T)</li> </ul>	Adobe デフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼ 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) 文書の検証情報を無視(I) 証時刻 署名の検証に使用する時刻: ◎ 現在の時刻(C) ◎ 男名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S) ◎ 署名が作成された時刻(T) ◎ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)	<ul> <li>署名検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼</li> <li>図 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>○ 文書の検証情報を無視(I)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>③ 現在の時刻(C)</li> <li>◎ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻()</li> <li>◎ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>		◎常にデフォルトの署名方法を使用(文書で指定された方法を無視)(₩)
<ul> <li>▼ 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>○ 文書の検証情報を無視(I)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>○ 現在の時刻(C)</li> <li>○ 第名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在のB</li> <li>● 署名が作成された時刻(T)</li> </ul>	<ul> <li>署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) 文書の検証情報を無視(I)</li> <li>証時刻 </li> <li>督名の検証に使用する時刻: </li> <li>⑦ 現在の時刻(C) </li> <li>⑦ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S) </li> <li>⑨ 署名が作成された時刻(T) </li> <li>⑦ 期限切れのタイムスタンプを使用(E) </li> </ul>	<ul> <li>▼ 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R)</li> <li>○ 文書の検証情報を無視(I)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>● 現在の時刻(C)</li> <li>● 第名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻()</li> <li>● 署名が作成された時刻(T)</li> <li>▼ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	署名	検証のデフォルト方法(F): Adobe デフォルトセキュリテ ▼
<ul> <li>▼書石検証の原に証明書の天効確認が成功することを要求(R)</li> <li>○ 文書の検証情報を無視(I)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>○ 現在の時刻(C)</li> <li>○ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在のB</li> <li>● 署名が作成された時刻(T)</li> </ul>	<ul> <li>営名検証の除に証明書の天効確認が成功することを要求(K)</li> <li>文書の検証信報を無視(I)</li> <li>(証時刻)</li> <li>習名の検証に使用する時刻:</li> <li>⑦ 現在の時刻(C)</li> <li>⑦ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>③ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>⑦ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	<ul> <li>▼書石検証の原に証明書の大効確認が成功することを要求(R)</li> <li>文書の検証情報を無視(I)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>⑦ 現在の時刻(C)</li> <li>⑦ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻( <ul> <li>● 署名が作成された時刻(T)</li> <li>⑦ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul> </li> </ul>		
<ul> <li>又書の検証(1)報を無税(1)</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証(に使用する時刻:</li> <li>⑦現在の時刻(C)</li> <li>⑦署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在のB</li> <li>③署名が作成された時刻(T)</li> </ul>	文書の検証に使用する時刻: 留名の検証に使用する時刻: ⑦ 現在の時刻(C) ② 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S) ④ 署名が作成された時刻(T) 期限切れのタイムスタンプを使用(E)	<ul> <li>□ 又書の検証[19報を無視])</li> <li>検証時刻</li> <li>署名の検証[10月する時刻]:</li> <li>◎ 現在の時刻[0]</li> <li>◎ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻()</li> <li>◎ 署名が作成された時刻()</li> <li>◎ 署名が作成された時刻()</li> <li>☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>		:石使証の除に証明書の天効確認か成功9ることを安水(K) - 表の検討性おも毎月の
検証時刻 署名の検証に使用する時刻: ◎ 現在の時刻(C) ◎ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在のB ◎ 署名が作成された時刻(T)	<ul> <li>証時刻</li> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>⑦ 現在の時刻(C)</li> <li>⑦ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>⑧ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>⑦ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	検証時刻 署名の検証に使用する時刻: ● 現在の時刻(C) ● 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻( ● 署名が作成された時刻(T) ■ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)		吉の検証用報を無抗山
<ul> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>⑦ 現在の時刻(C)</li> <li>⑦ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在のB</li> <li>⑧ 署名が作成された時刻(T)</li> </ul>	<ul> <li>番名の検証に使用する時刻:</li> <li>● 現在の時刻(C)</li> <li>● 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>● 署名が作成された時刻(T)</li> <li>▼ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	<ul> <li>署名の検証に使用する時刻:</li> <li>⑦ 現在の時刻(C)</li> <li>⑦ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(</li> <li>⑨ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	検	
<ul> <li>◎ 現在の時刻(C)</li> <li>◎ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在のB</li> <li>◎ 署名が作成された時刻(T)</li> </ul>	<ul> <li>○ 現在の時刻(C)</li> <li>○ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)</li> <li>◎ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	<ul> <li>○ 現在の時刻(C)</li> <li>○ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(</li> <li>○ 署名が作成された時刻(T)</li> <li>☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	E	名の検証に使用する時刻:
<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	<ul> <li>● 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(5)</li> <li>● 署名が作成された時刻(1)</li> <li>▼ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	<ul> <li>● 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(</li> <li>● 署名が作成された時刻()</li> <li>▼ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>		◎ 現在の時刻(C)
<ul> <li>         ・ ・ ・</li></ul>	<ul> <li>● 著名か作成された時刻(f)</li> <li>✓ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>	<ul> <li>● 著名が作成された時刻(f)</li> <li>☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)</li> </ul>		◎ 署名に埋め込まれたタイムスタンプサーバー等によって保証される時刻、見つからない場合は現在の時刻(S)
	☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)	☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)		<ul> <li></li></ul>
☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)				☑ 期限切れのタイムスタンプを使用(E)

(4) すべての画面を順に閉じて、Adobe Reader X を再起動してください。